

2025年 6月 2日
京成電鉄株式会社

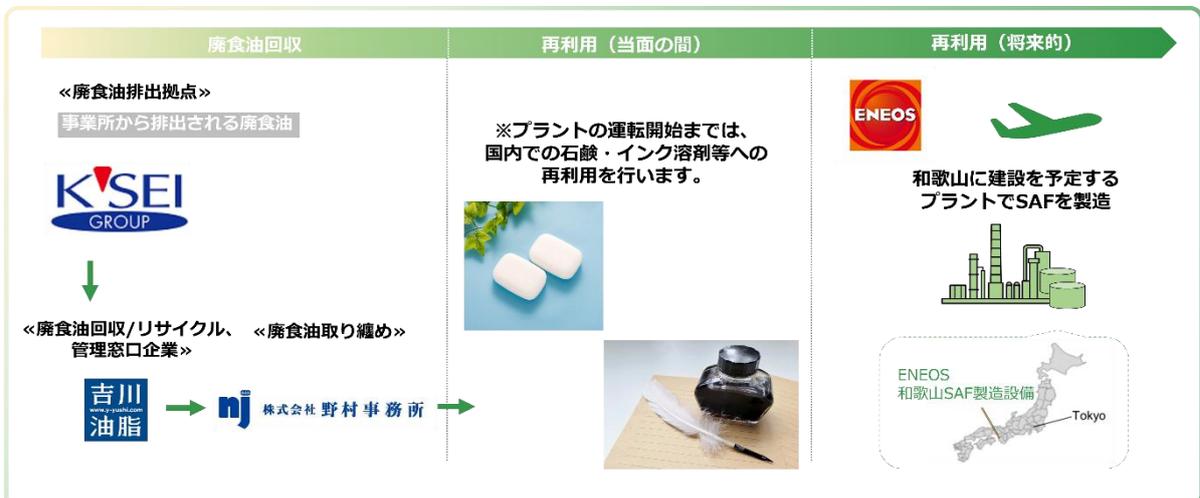
京成電鉄、ENEOS、吉川油脂、野村事務所
使用済み食用油の有効活用に関する基本合意書を締結
～京成グループ各施設等で排出される廃食用油を
SAFをはじめとした様々な原料として活用します～

京成電鉄(代表取締役社長:小林 敏也、本社:千葉県市川市)は、ENEOS(代表取締役:山口 敦治、本社:東京都千代田区)、吉川油脂(代表取締役:吉川 千福、本社:栃木県佐野市)、および野村事務所(代表取締役:野村 生次、本社:東京都港区)と使用済み食用油(以下、「廃食油」)の有効活用に関する基本合意書を締結しましたのでお知らせします。

本取り組みでは、京成グループが運営する店舗・施設(京成ストア・コンビニエンスストア・ホテル・百貨店等)で排出される廃食油を吉川油脂が回収し、野村事務所により取り纏め、将来的にはENEOSが事業化を進める持続可能な航空燃料(以下、「SAF」※1)製造プラント(和歌山製造所:和歌山県有田市、能力:40万キロリットル/年、2028年度以降稼働開始予定)にて原料として使用される予定です(当面の間は石鹼・インク溶剤等に再利用)。

当社は、ENEOSが進める SAF の原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築に向けた取り組みに賛同し、国内で使用されていない廃食油の利活用への協力を通じて、脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

※SAF…「持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)」の略称。従来のジェット燃料が原油から精製されるのに対し、SAF は廃食油やサトウキビ、都市ごみ、廃プラスチックを用いて生産される。



以上